報道関係者と民博との懇談会　話題一覧

平成 27 年 1 月 15 日（木）15:30 ～ 16:30　第一会議室

1.　挨拶　　— 須藤健一（館長）—

2.　ニュースリリース　　— 池谷和信（広報企画会議長）—

●みんぱくの最新情報と今後３カ月の行事をご案内いたします。

3.　新展示

南アジア・東南アジア展示　新オープン

詳しくは こちら

文化人類学・民族学の最新の研究成果を広く公開するため展示場を順次リニューアルしています。2015 年 3 月 19 日には南アジア・東南アジア展示が新しくなります。

南アジア展示

躍動する南アジア―巨大な山車、輪タク、女神像等が行進する迫力の展示

南アジアは、急速な経済発展を遂げ、経済力においても政治的な存在感においても世界から注目を集めています。豊かな自然環境のもと、さまざまな宗教や文化、生活様式をもつ人びとが共存しあう知恵を育んできました。本展示では、南アジアのストリートをイメージして生態・社会・文化の多元性を象徴的に展示するほか、信仰やくらしの技の伝統と現代的展開、独特の発展を見せる大衆文化や染織文化の展示を通して、躍動する南アジアの姿を紹介します。

― 三尾稔（研究戦略センター・准教授）―

東南アジア展示

異種混淆（いしゅこんこう）する東南アジア―展示場で「東南アジアの１日」を追体験する

東南アジアは、インドと中国の 2 つの文明の「はざま」にあります。そこには、起源を異にする民族が様々な生活スタイルで暮らす異種混淆の世界が広がっています。この東南アジア世界の特徴を一つのストーリーとして端的に表現するために、展示場を「東南アジアの 1 日」に見立て、東南アジア的な空間として造形します。来館者は、この新しい東南アジア展示場を通り抜けることにより、その多彩な民族文化を体験することができます。

― 信田敏宏（文化資源研究センター・教授）―

4.　国際フォーラム
紛争地の文化遺産と博物館

詳しくはこちら

現地の人びとによる遺産継承という視点から、博物館と現地コミュニティのあらたな関係を構築する方法を考えます。

会　期：2015 年 2 月 7 日（土）13：30 〜 16：20
場　所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室
定　員：60 名［要事前申込／参加無料］

― 池谷和信（広報企画会議長）―

5.　研究フォーラム
持続可能なＩＰＭに向けて
―博物館環境データの分析手法を考える

詳しくはこちら

博物館の環境調査から得られる膨大なデータの効率的・長期的視点での分析手法について保存科学者と学芸員がともに考えます。

会　期：2015 年 2 月 20 日（金）13：30 〜 18：00
場　所：国立民族学博物館 第 5 セミナー室
定　員：50 名［研究者対象／申込不要／先着順／参加無料］

― 園田直子（文化資源研究センター・教授）―

6.　国際シンポジウム
アジアにおける新しい博物館・博物館学の展望

詳しくはこちら

各国の歴史的・社会的・文化的背景に即して、発展、成熟する博物館研究とその実践事例を共有し、アジア独自の博物館・博物館学のありかたを議論します。

会　期：2015 年 2 月 21 日（土）9:30 〜 16：30
　　2015 年 2 月 22 日（日）9:30 〜 17：30
場　所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室
定　員：50 名（予定）［申込不要／先着順／参加無料］

― 園田直子（文化資源研究センター・教授）―

7.　研究紹介
最新の研究紹介

詳しくはこちら

「フィールド映像術」
（分藤大翼・川瀬慈・村尾静二編　編）古今書院　― 川瀬慈（文化資源研究センター・助教）―

「Questions de migrations et de santé en Afrique sub-saharienne」
（Yves CHARBIT & Teiko MISHIMA　編）ハルマッタン　― 三島禎子（民族社会研究部・准教授）―

8. 研究こぼれ話
アフリカ商人に出会うまで

世界規模で貿易をおこなうアフリカ商人に出会うまでの研究の足跡を紹介します。野性的でもなく、学究肌の若者でもなかったひとりの女性が日本のアフリカ研究者の仲間入りをするにいたった経緯とその過程について、日本社会の変容に即してお話しします。

―　三島禎子（民族社会研究部・准教授）―

国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ
国立民族学博物館　広報企画室広報係
電話 :06-6878-8560（直通）FAX:06-6875-0401　Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp